

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	01
担当教員	池本 修一	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 5	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1 年間にわたって欧州経済に関する様々な文献を購読することによって欧州経済の実態を多面的に理解することを目標とする。 対応 D P 及び C P : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
原則的に対面方式によって指定した教材を輪読し、各自が割り当てられた範囲の文献をパワーポイントによって要約し、問題点を指摘する。今年度のテキストは前期は庄司克宏著『欧州ポピュリズム』と後期は熊谷徹著『欧州分裂クライシス』を輪読し、それぞれ担当した学生が発表する予定である。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	欧州におけるポピュリズムの起源、特色などの基礎的知識の理解	指導教官による当該課題に関する背景、起源、特色に関して今後の履修学生の研究学習のための基礎的知識を丁寧に解説する
第 2 回	前期課題図書：庄司克宏著『欧州ポピュリズム』はじめに 欧州ポピュリズムの衝撃 第 1 節 2017 年のポピュリズム危機	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 3 回	第 2 節 欧州ポピュリズムの台頭と浸透	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 4 回	第 3 節 フランスとドイツにおけるポピュリズムと EU	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 5 回	第 1 章 欧州ポピュリズムとは何か 第 1 節 ポピュリズムをどのように捉えるか	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 6 回	第 2 節 ポピュリズムとリベラル・デモクラシー	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 7 回	第 3 節 グローバル化と欧州ポピュリズム	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 8 回	第 3 章 欧州ポピュリズムはなぜ出現したのか 第 1 節 ポピュリズムの一般的発生要因	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 9 回	第 2 節 欧州ポピュリズムの構造的要因	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポー

		トを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 10 回	第 3 節 排外主義・ポピュリズムと移民・難民問題	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 11 回	第 4 節 反リベラル・ポピュリズムとコペンハーゲン・ディレンマ	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 12 回	第 4 章 欧州ポピュリズムは EU に何をもたらすのか 第 1 節 欧州ポピュリズムが EU の政策決定に「侵入」する経路	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 13 回	第 2 節 欧州議会内の党派政治と欧州ポピュリズム	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 14 回	第 3 章 国民投票と欧州ポピュリズム	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 15 回	前期のまとめ 欧州ポピュリズムとは何か	これまでの議論をまとめてレポートを作成する 【事前学習】2 時間：学生全員が前期課題を見直しほかの資料を調べてまとめる。 【事後学習】2 時間：履修学生全員がこれまでの発表や輪読した内容をまとめて前期レポートを作成する。
第 16 回	後期課題図書 熊谷徹著『欧州分裂クライシス』 第 1 章 二人のポピュリスト 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 17 回	第 1 章後半 二人のポピュリスト 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 18 回	第 2 章 国民投票という選択は正しかったか 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する

		【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 19 回	第 2 章 国民投票という選択は正しかったか 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 20 回	第 3 章 敗者たちの復讐 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 21 回	第 3 章 敗者たちの復讐 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 22 回	第 4 章 右翼政党躍進の衝撃 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 23 回	第 4 章 右翼政党躍進の衝撃 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 24 回	第 5 章 転機となった難民危機 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 25 回	第 5 章 転機となった難民危機 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 26 回	第 6 章 東西を分断する「心の壁」 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 27 回	第 6 章 東西を分断する	当該節の輪読と発表。

	「心の壁」 後半	【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 28 回	終章 ポピュリズム革命はどこに向かうのか 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 29 回	終章 ポピュリズム革命はどこに向かうのか 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 30 回	後期のまとめ 英国とドイツのポピュリズム革命の考察	これまでの議論をまとめてレポートを作成する 【事前学習】2 時間：学生全員が後期課題を見直しほかの資料を調べてまとめる。 【事後学習】2 時間：履修学生全員がこれまでの発表や輪読した内容をまとめて後期レポートを作成する。

授業形式	
原則的に対面方式の授業形態とするので第 1 回目は指定された教室に集合すること。出席を重視し遅刻は原則的に認めない。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
発表 50%，出席 50%とする。前期・後期で各 3 回以上欠席した学生は単位取得は難しい。					

テキスト
今年度のテキストは前期は庄司克宏著『欧州ポピュリズム』と後期は熊谷徹著『欧州分裂クライシス』とする。
参考文献
随時，授業中に指示する。
オフィスアワー
火曜日 4 時間目
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
繰り返しになるが原則的に対面方式で授業を進める。十分に予習復習を行うこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	太田 瑞希子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	月 2	単位区分	選
講義室	3105	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 地域経済統合の理論と EU（欧州連合）統合の歴史について説明できる。 2. 単一市場と単一通貨ユーロ導入の背景とその成立の意義について説明できる。 3. EU と周辺国の経済関係について説明できる。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義は、世界で展開する地域経済統合の先行例としての EU 経済に関する基礎知識の習得を、基礎的文献の輪読及びディスカッションを通じて学ぶ。地域経済統合の基礎と EU 経済統合の背景からスタートし、EU の通貨システムや共通政策について理解し、3 年次以降の発展的学習の基礎を構築することを目的とする。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション：授業概要と基礎知識の確認	授業の概容と学習目標, 授業の進め方および評価方法について詳しく説明する。その後, EU 経済の概観および世界経済について、各自の知識を確認する。 【事前学習】2 時間 EU およびヨーロッパ経済、世界経済に関する各種報道を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内で提示した課題。
第 2 回	地域経済統合の理論について輪読①地域経済統合と統合の歴史	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 2 回の授業で提示した課題。
第 3 回	地域経済統合の理論について輪読②EU の組織と政策決定	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 3 回の授業で提示した課題
第 4 回	関税同盟と単一市場について輪読①関税同盟と市場統合	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 4 回の授業で提示した課題
第 5 回	関税同盟と単一市場について輪読②単一市場の拡大と改革	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 4 回の授業で提示した課題
第 6 回	EU の共通政策について輪読①共通農業政策	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 5 回の授業で提示した課題。
第 7 回	EU の共通政策について輪読②通商政策と競争政策	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 6 回の授業で提示した課題
第 8 回	通貨協力とユーロについて輪読①通貨協力の動機と歴史	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 7 回の授業で提示した課題

第 9 回	通貨協力とユーロについて 輪読②通貨統合	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 8 回の授業で提示した課題
第 10 回	ユーロ圏の危機と復活について 輪読①リーマン危機と欧州	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 9 回の授業で提示した課題。
第 11 回	ユーロ圏の危機と復活について 輪読②ユーロ危機	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 10 回の授業で提示した課題
第 12 回	ユーロ圏の危機と復活について 輪読③ECB の危機対応	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 11 回の授業で提示した課題
第 13 回	ヨーロッパの金融システムについて 輪読①SIFIs と金融危機	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 12 回の授業で提示した課題
第 14 回	ヨーロッパの金融システムについて 輪読②金融同盟	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 13 回の授業で提示した課題。
第 15 回	EU の格差について 輪読①南北格差	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 14 回の授業で提示した課題
第 16 回	EU の格差について 輪読②域内労働力移動	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 15 回の授業で提示した課題
第 17 回	EU の格差について 輪読③移民・難民問題	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 16 回の授業で提示した課題
第 18 回	EU の格差について輪読④ 域内不均衡	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 17 回の授業で提示した課題。
第 19 回	フランスと EU 経済について 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 18 回の授業で提示した課題
第 20 回	ドイツと EU 経済について輪 読①ドイツ経済と EU	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 19 回の授業で提示した課題
第 21 回	ドイツと EU 経済について輪 読②ユーロ危機とドイツ	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 20 回の授業で提示した課題
第 22 回	イギリスと EU 経済について 輪読①戦後のイギリス経済 と EU	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 21 回の授業で提示した課題。
第 23 回	イギリスと EU 経済について 輪読②21 世紀の国際金 融とイギリス	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 22 回の授業で提示した課題
第 24 回	イギリスと EU 経済について 輪読③Brexit	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 23 回の授業で提示した課題
第 25 回	イギリスと EU 経済について 輪読④離脱後のイギリス	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。

		【事後学習】2 時間 第 24 回の授業で提示した課題
第 2 6 回	南欧諸国と EU 経済について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 25 回の授業で提示した課題。
第 2 7 回	中・東欧諸国と EU 経済について輪読①EU の東方拡大戦略と中・東欧諸国	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 26 回の授業で提示した課題
第 2 8 回	中・東欧諸国と EU 経済について輪読②中・東欧経済の発展	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 27 回の授業で提示した課題
第 2 9 回	EU と対外通商関係について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 28 回の授業で提示した課題
第 3 0 回	総括	これまでに理解した内容を踏まえて、最新情勢に関するディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 これまでの学習を復習しておく。 【事後学習】2 時間 総括での議論をベースに、1 年間の学習をまとめ直し、理解したポイントを整理する。

授業形式
質問等は Ecolink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					

テキスト
・半期 5 回を超えて欠席した場合は、成績評価の対象外とする。 ・報告担当の回を無断欠席した場合は、欠席 2 回の扱いとする。
参考文献
田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治著『現代ヨーロッパ経済（第 5 版）』有斐閣, 3024 円, ISBN 978-4-641-22108-6.
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・事前・事後学習として指示された内容以外に、日頃から EU に関する報道を把握しておくこと。 ・授業課題の提出が複数回ない場合は単位認定を認めない。 ・欧州情勢の変化により、随時教員より時事解説の時間を取ります。
授業用 URL
参考 URL 1
https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/eu/index.html
参考 URL 2
https://ec.europa.eu/commission/index_en

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	02
担当教員	大場 允晶	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、生産管理・経営情報論をベースとした知識を活用し、現代企業経営が抱えている諸問題を解決するための基本的な取り組み方、自主的解決方法についてグループの一員として取り組み、行動できるようになることを目標とする。また、組織の中で、自分のビジョンを持ち、自分で問題点を見つけ、自分で解決策を決められるリーダーとなれる人材として活躍できるようになる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
生産管理・経営情報の基本（言葉）と現代の物販モデルを理解する。また、IoT サービス課金モデルを研究する。図書館、インターネットの活用し、調査の基本を理解できるようにする。ショートケーススタディによる課題の整理法・解決法を習得する。ビジネスケーススタディによる企業分析、ビジネスゲームを体験し、経営の意思決定方法を習得し、ひな形を使った企業分析法を体験により理解し、生産マネジメントの基礎を身に付けられるようにする。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション：生産管理・経営情報をベースとした特別専門ゼミ授業の概要、授業の進め方	授業開始に当って、特別専門ゼミ授業の概要、授業の進め方を理解する。 【事前学習】2 時間 EcoLink 等から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行できるようにしておくこと。
第 2 回	ゼミ活動の年間予定、ゼミにおける役割分担（役員内容）の決定、アイスブレイキングとしてのアクティビティの実行	ゼミのグループ学習の役割分担、意思決定のルールを理解し、メンバー間の親睦を図る。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行できるようにしておくこと。
第 3 回	投資体験ゲームによりグループ学習体験	グループ活動中心のゼミの学習方法を学習ゲームによって体験する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 4 回	"ショートケース・スタディ③（日大インパル社の事業環境分析と経営戦略策定）の解説と学習準備	グループ活動中心のゼミの学習方法を学習ゲームによって体験する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 5 回	ショートケース・スタディ③のグループ学習 1 課題 0 についてグループ発表 課題 1, 2, 3 についてグループ討議	ショートケース・スタディ③（日大インパル社の事業環境分析と経営戦略策定）の内容と課題について理解する。グループ分けを行い役割分担を決める。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 6 回	ショートケース・スタディ③のグループ学習 2 課題 1, 2, 3 についてグループ発表 課題 4, 5, 6 についてグループ討議	ショートケース・スタディ③の課題 1, 2, 3 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 7 回	ショートケース・スタディ③のグループ学習 3 課題 4, 5, 6 についてグループ発表 全体のまとめ討議	ショートケース・スタディ③の課題 4, 5, 6 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 8 回	ショートケース・スタディ③のグループ学習まとめ 全体のまとめの発表	ショートケース・スタディ③のグループまとめ内容を理解し、グループディスカッションを行って発表する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 9 回	企業研究の解説と学習準備	企業研究のやり方、財務諸表・財務分析について理解する。グループ分けを行い、各自の役割分担について理解する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。

		と。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、必要な資料収集、企業研究テンプレートに担当部分を記述し、説明できるようにしておくこと。
第 10 回	企業研究の学習 1 研究対象候補企業の分析 資料説明と討議と決定	企業研究の対象選定作業、SWOT 分析を行い研究対象企業選定シートをグループで作成する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 11 回	企業研究の学習 2 研究対象企業選定シート による選定結果の発表 事前学習レポートの検討 1	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 12 回	企業研究の学習 3 事前学習レポートの検討 1 のグループ発表 事前学習レポートの検討 2	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 13 回	企業研究の学習 4 事前学習レポートの検討 2 のグループ発表 事前学習レポートの検討 3	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 14 回	企業研究の学習 5 事前学習レポートの検討 3 のグループ発表 事前学習レポートの検討 4 と発表	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 15 回	企業研究のまとめ 完成した事前学習レポート の提出 事前 学習レポートの検討 2 の グループ発表	企業研究でまとめた事前学習レポートの提出と内容を加味したパワーポイントを作成して発表し、講評を受ける。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に受けた講評内容を提出物に反映し修正版を作成する。
第 16 回	ショートケース・スタディ⑩ （日大食品社の経営革新） の解説と学習準備	ショートケース・スタディ⑩（日大食品社の経営革新）の内容と課題について理解する。グループ分けを行い役割分担を決める。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、必要な資料収集、ショートケース・スタディ⑩の発表シートに担当部分を記述し、説明できるようにしておくこと。
第 17 回	ショートケース・スタディ⑩の グループ学習①	ショートケース・スタディ⑩の課題 0, 1 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 18 回	ショートケース・スタディ⑩の	ショートケース・スタディ⑩の課題 2, 3 について内容を理解し、グループディス

	グループ学習②	カッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 19 回	ショートケース・スタディ⑫のグループ学習③	ショートケース・スタディ⑫の課題 4 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 20 回	ショートケース・スタディ⑫のグループ学習④	ショートケース・スタディ⑫の課題 5 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 21 回	ショートケース・スタディ⑫のグループ学習まとめ	ショートケース・スタディ⑫の全課題のグループ回答をまとめ発表する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 22 回	ケース・スタディ B（ビジネス・シミュレーションゲーム）の解説と学習準備	ケース・スタディ B における経営環境、役員の役割、ケースの流れ、作成帳票の仕組みを理解する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 23 回	ケース・スタディ B の企業設立、役員就任と定款の制定	ケース・スタディ B のグループごとの企業設立、役員就任を決め、対象企業の定款を決め、制定する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておく
第 24 回	ケース・スタディ B：経営練習用実施、長期経営計画の作成	ケース・スタディ B における経営意思決定の流れの練習期を実施し、お金の流れと帳票の作成方法を理解する。また、長期経営計画を企業単位で作成する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておく
第 25 回	ケース・スタディ B：経営 1～4 期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営 1～4 期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておく
第 26 回	ケース・スタディ B：経営 5～8 期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営 5～8 期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行

		しておくこと。
第 27 回	ケース・スタディ B：経営 9～12 期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営 9～12 期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 28 回	ケース・スタディ B：経営 13～18 期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営 13～18 期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 29 回	ケース・スタディ B：経営 19～24 期実施、経営の意思決定表の作成	経営 19～24 期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。2 年分の経営結果をまとめ、経営成績の反省をレポートにまとめる。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 30 回	ケース・スタディ B：各社経営成績の発表とまとめ、振り返り	2 年間の成績とグループのレポートを発表し、講評を受ける。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。

授業形式	
・授業形態は「②オンデマンド型」とする。 講義では、グループ編成をして、グループ発表、報告書提出を前提とする。 ・レポートは個人単位とする。 ・質問等は Ecolink または Gmail から受け付ける。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	80%	0%	1
評価の特記事項					
・遅刻せずゼミ授業に出席することがゼミ単位取得の前提とする。 ・前後期で 2 回の Report を課す。"					

テキスト
指定しない
参考文献
・大場允晶、藤川裕晃編著「生産マネジメント-戦略編」，文眞堂，2010 年，2,500 円(税抜) ,・大場允晶、藤川裕晃編著「生産マネジメント-技術編」，文眞堂，2009 年，2,500 円(税抜),・大場允晶、藤川裕晃編著，『経営情報とビジネスプロセス管理』，創成社，2012 年，2,500 円(税抜)
オフィスアワー
随時。事前にメールでアポを取ること なお、メールアドレスは ohba.masaaki@nihon-u.ac.jp とする。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
講義中の私語は最低限のモラルとして慎むこと。
授業用 URL
http://www.eco.nihon-u.ac.jp/
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	大橋 賢裕	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
行動経済学の理論と実践を学びます。行動経済学は、意思決定における心のはたらきに注目します。 心のはたらきには癖があります。その癖はしばしば、我々に偏った選択をさせてしまいます。 本ゼミナールで学ぶことによって、 （１）心のはたらきの癖にはどんなものがあるか （２）「偏った選択」をうまく回避するために、社会ではどんな工夫がなされている かについて、自分の言葉で説明できるようになります。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
行動経済学に関する基本的な文献を輪読します。 各自の担当箇所を決め、報告資料を作成し、それに基づいて内容の報告をして貰います。 発表は、本の内容を理解していることが前提です。 わかっていないにも関わらずそれを誤魔化すのは許しません。 そういうときは正直に伝えましょう。 輪読文献 １．大竹文雄『行動経済学の使い方』岩波新書、2019 年 ２．ターリ・シャーロット『事実はずいぶん人の意見を変えられないのか』白揚社、2019 年

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	授業方針の説明と自己紹介	輪読の順番を決める。 【事前学習】2 時間 指定文献に目を通し、どんな内容か大まかに把握する。 【事後学習】2 時間 レポートを書き始める。
第 2 回	大竹 1 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	大竹 1 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	大竹 2 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	大竹 2 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	大竹 3 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	大竹 3 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	大竹 4 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	大竹 4 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	大竹 5 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	大竹 5 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	大竹 6 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	大竹 6 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	大竹 7 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	大竹 7 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	大竹 8 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	大竹 8 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

第18回	シャーロット1章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第19回	シャーロット1章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第20回	シャーロット2章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第21回	シャーロット2章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第22回	シャーロット3章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第23回	シャーロット3章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第24回	シャーロット4章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第25回	シャーロット4章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第26回	シャーロット5章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第27回	シャーロット5章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第28回	シャーロット6章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第29回	シャーロット6章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第30回	シャーロット7章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式	
★授業形態は「①同時双方向型」とする。必ず Google Classroom に登録すること。	
★質問や授業内容に関するフィードバックは講義内または電子メールにて行う。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	20 %	0 %	80 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
事前連絡無しの遅刻早退欠席は、成績・単位認定の大きな障害となります。					
特に報告時の無断欠席は、その時点で出入禁止、単位不可となります。					

テキスト
1. 大竹文雄、『行動経済学の使い方』、岩波新書、2019 年、820 円（税抜き）
2. ターリ・シャーロット、『事実なぜ人の意見を変えられないのか』、白揚社、2019 年、2500 円（税抜き）
参考文献
特になし。
オフィスアワー
水曜日 4 限（14:40--16:10）
変更の場合があるので Classroom のストリームで確認してください。
Gmail でも受け付けています。詳しくは Classroom の授業紹介動画をご覧ください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
最後までやり通してください。
授業用 URL
https://classroom.google.com/c/NzE1Nzc0NDIyMTtha
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	05
担当教員	川崎 茂	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 2	単位区分	選
講義室	7073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この科目では、学生が次の知識・能力を修得することを目標とします。 ① 多様なグローバルな社会経済課題の中から影響度の大きい重要なものを調べ、情報を整理して発表できること。 ② グローバルな課題の背景にある多面的な側面を理解し、可能な限り客観的な事実に基づいて解釈・説明できること。 ③ 資料の取りまとめ・ディスカッションを通じて、自らの考えを適切に発表し、議論に活かすこと。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
このゼミでは、私たちが日々のニュースで見聞するグローバルな社会・経済の課題を自らの力で調べ、統計データを用いながら経済学的視点で研究します。学生は、新聞、外国のニュースサイト、国際機関の情報サイト等を通じてグローバルな課題を自ら探し、それについて調べてプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションに基づいて、学生同士で議論を行い、理解を深めます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	導入	ゼミの内容及び進め方について説明する。ゼミ生同士で自己紹介を行い、お互いを知る。ゼミでは自由に議論できる雰囲気を作成することが必要なので、気軽に話せる人間関係を作るよう努める。 事前学習：特になし 事後学習：次回に向けて出す課題に対応すること
第 2 回	ニュース発表（1）	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：1 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：30 分。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 3 回	ニュース発表（2）	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：1 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：30 分。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 4 回	ニュース発表（3）	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：1 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：30 分。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 5 回	ニュース発表（4）	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：1 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：30 分。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 6 回	ニュース発表（5）	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：1 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：30 分。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 7 回	ニュース発表（6）	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：1 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：30 分。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 8 回	グループ研究（1）	ニュース発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：30 分。過去 7 回のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：1 時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第 9 回	グループ研究（2）	ニュース発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：1 時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。 事後学習：1 時間。グループでの議論に応じて、さらに情報を調べる。
第 10 回	グループ研究（3）	ニュース発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：1 時間。グループのテーマについて不足する情報はないか、検討する。 事後学習：1 時間。グループでの議論に応じて、さらに情報を調べる。
第 11 回	グループ研究（4）	ニュース発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：1 時間。発表資料案を作成する。 事後学習：1 時間。グループでの検討に応じて資料の修正を行う。
第 12 回	グループ研究（5）	グループごとに順番に発表を行う。

		事前学習：1 時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：1 時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第 13 回	グループ研究（6）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：1 時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：1 時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第 14 回	グループ研究（7）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：1 時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：1 時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第 15 回	前期のまとめ	前期のグループ研究の議論を振り返り、ディスカッションの際に出た疑問点について解明し、取りまとめる。 事前学習：1 時間。これまでの発表内容を振り返り、疑問点を整理する。 事後学習：1 時間。本日の議論を整理し、理解を深める。
第 16 回	導入	夏季休暇中における読書・活動等についてお互いに報告する。後期のゼミの進め方について説明する。 事前学習：30 分。ゼミでの発表に備える。 事後学習：30 分。次回以降の発表に備え、課題資料を概観する。
第 17 回	資料発表（1）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：1 時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：30 分。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第 18 回	資料発表（1）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：1 時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：30 分。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第 19 回	資料発表（2）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：1 時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：30 分。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第 20 回	資料発表（3）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：1 時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：30 分。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第 21 回	資料発表（4）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：1 時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：30 分。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第 22 回	資料発表（5）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：1 時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：30 分。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第 23 回	資料発表（6）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：1 時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。）

		事後学習：30分。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第24回	グループ研究（1）	資料発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：30分。後期のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：1時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第25回	グループ研究（2）	決められたグループに分かれて、グループごとに設定したテーマに関し研究を行う。 事前学習：1時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。 事後学習：1時間。グループでの議論に応じて、さらに情報を調べる。
第26回	グループ研究（3）	グループでの研究を進める。 事前学習：1時間。グループのテーマについて不足する情報はないか、検討する。 事後学習：1時間。グループでの議論に応じて、さらに情報を調べる。
第27回	グループ研究（4）	グループでの研究を進める。 事前学習：1時間。発表資料案を作成する。 事後学習：1時間。グループでの検討に応じて資料の修正を行う。
第28回	グループ研究（5）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：1時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：1時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第29回	グループ研究（6）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：1時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：1時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第30回	ゼミナールの振り返り	前期・後期を通じて行った研究を振り返り、学んだことを整理する。 事前学習：1時間。前期・後期の研究について疑問点を整理する 事後学習：1時間。疑問点について分かったこと、さらに研究・考察が必要なことを整理する。

授業形式

各回のゼミでは、予め発表する当番を決めておき、その当番からの発表に対してディスカッションを行います。履修者は、疑問点を提起したり、他の履修者の疑問点に答えるなど、議論に積極的に参加してください。教員から研究テーマの候補を提示しますが、必ずしもそれにとらわれず、自分で何かのテーマに興味のある人は、それを選んで研究してください。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50	0%	50	0	100
評価の特記事項					
各自の研究発表及びグループごとの研究発表をレポートとみなし、その成果を評価の対象とします。また、授業への積極的な参加、ディスカッションの内容の発展・深化への貢献の高さに応じて評価します。					

テキスト
授業内で随時紹介します。
参考文献
オフィスアワー
火曜日 16:30～18:00（対面授業が行われる場合のみ。オンラインによる開催の場合には、オンラインで相談を受け付けますので、ゼミナール終了後に時間調整をします。）
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
開講式等の行事への出席の有無にかかわらず、このゼミの履修希望者は、私宛（下記）にメールを送ってください。 宛先： ecsh80507@g.nihon-u.ac.jp （川崎茂） 題名： 専門特別研究（月曜 2 限）の履修希望 本文に含めること：履修を希望する旨の短いメッセージと、学籍番号・氏名 期限： 4 月 11 日夜までに送ってください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	07
担当教員	新海 宏美	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	3114	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，食料，食料の流通そして食料の生産を担う農業，農村に関わる問題について，実態を踏まえたうえで経済学的な視点から考え，自分の意見を主張できるようになることが目標です。また，ゼミを通じてレポートやレジュメの書き方，報告や討論の仕方などを習得することを目指します。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では，フードシステムにおける課題を経済学的な視点から分析します。食料が消費者に提供されるまで，つまり生産や流通などの過程におけるすべての経済主体の働きを総合的なシステムとして考え，経済学を応用してそれらの課題を捉えられるようにしていきます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点などについて説明する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし, よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, フードシステムの課題について考えておく。
第 2 回	フードシステムの課題を考える	フードシステムにはどんな課題があるのか考える。 【事前学習】2 時間 フードシステムについて調べ, 課題を考える。 【事後報告】2 時間 授業を振り返り, 意見や気付きをまとめる。
第 3 回	グループワーク①	グループでテーマを決め, 情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 4 回	テーマについて報告①	第 1 回で提示したテーマについて, 順番に報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて, 調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 5 回	テーマについて報告②	第 1 回で提示したテーマについて, 順番に報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて, 調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 6 回	テーマについて報告③	第 1 回で提示したテーマについて, 順番に報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて, 調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 7 回	テーマについて報告④	第 1 回で提示したテーマについて, 順番に報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて, 調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 8 回	グループワーク②	グループで決めたテーマについて, 情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 9 回	新聞発表とテキスト報告①	前半は, フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は, テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み, 発表者は報告準備をし, 発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。

第 10 回	新聞発表とテキスト報告②	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 11 回	新聞発表とテキスト報告③	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 12 回	新聞発表とテキスト報告④	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 13 回	新聞発表とテキスト報告⑤	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 14 回	グループワーク③	グループで決めたテーマについて、情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 15 回	振り返り	これまでの学修の成果を振り返る。 【事前学習】2 時間 これまでの授業を振り返り、内容をまとめておく。 【事後学習】2 時間 今後の学修に還元できる点を考えてみる。
第 16 回	グループワーク④	グループで決めたテーマについて、情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 17 回	グループワーク⑤	グループで決めたテーマについて、情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。

第 18 回	新聞発表とテキスト報告⑥	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 19 回	新聞発表とテキスト報告⑦	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 20 回	新聞発表とテキスト報告⑧	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 21 回	新聞発表とテキスト報告⑨	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 22 回	新聞発表とテキスト報告⑩	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 23 回	グループワーク⑥	グループで決めたテーマについて、情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 24 回	新聞発表とテキスト報告⑪	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間

		報告時の意見や気付きをまとめる。
第 25 回	新聞発表とテキスト報告⑫	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 26 回	新聞発表とテキスト報告⑬	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 27 回	新聞発表とテキスト報告⑭	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 28 回	新聞発表とテキスト報告⑮	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 29 回	グループワーク⑦	グループで決めたテーマについて、報告する。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 30 回	総括	授業全体の学修の成果を振り返る。 【事前学習】2 時間 これまでの授業を振り返り、内容をまとめておく。 【事後学習】2 時間 今後の学修に還元できる点を考えてみる。

授業形式	
・授業形態は「②オンデマンド型」とします。ただし状況に応じて、「③部分対面型」とします。 ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は Ecolink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	1
評価の特記事項					
・授業内で提示した課題は全て提出してください。 ・報告，授業内での意見，グループワークでの寄与度，課題，レポートなどを総合的に評価します。					

テキスト
農水省『農業・食料・農村白書』の最新版
参考文献
授業時に提示します。
オフィスアワー
授業時に提示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・遅刻や私語など，ほかの学生に迷惑のかかる行為は厳禁とします。 ・無断欠席には厳しく対処します。特に，報告の担当となっている場合はなおさらです。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	杉原 茂	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	A35b	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この授業では、公共政策を企画・立案し評価するための技能を習得します。 適切な政策・制度を企画し実現していくためには、きちんとした理論的分析と統計的手法を、複雑な現実柔軟に適用していく必要があります。これは、直接の政策決定者だけでなく、政策を評価・監視する立場にある者、さらには政策に影響を受ける一般の国民についても求められる資質です。 そこで、医療や金融を始めとするサービス業の効率性の改善やデジタル経済の発展に対応した新たな競争政策上の課題、マネジメントや研究開発等による生産性の上昇などのための公共政策の企画・立案や評価を実証的に推進するため、基礎となる経済理論と統計手法の習得、及び、それらを現実に応用する技能を身に付けます。 対応 DP 及び CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
公共政策についてのテキストや文献を輪読するが、各人が担当箇所のプレゼンテーションを行い、全員でディスカッションを行う。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の内容や進め方, 評価方法, 履修上の注意について説明する。 【事前学習】2 時間 テキストの目次やイントロダクションなどを読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を良く復習し, 今後の学修の進め方について自分なりのイメージをつかむ。
第 2 回	市場の倫理的限界について 輪読: その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】3 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 3 回	市場の倫理的限界について 輪読: その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】4 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 4 回	市民社会における経済学 者の役割について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】5 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 5 回	経済学の変化について輪 読: その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】6 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 6 回	経済学の変化について輪 読: その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】7 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 7 回	市場経済における国家の役 割について輪読: その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】8 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 8 回	市場経済における国家の役割について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】9 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 9 回	企業統治と企業の社会的責任について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】10 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 10 回	企業統治と企業の社会的責任について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】11 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 11 回	環境問題について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】12 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 12 回	環境問題について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】13 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 13 回	労働市場の課題について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】14 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。

第14回	労働市場の課題について輪読：その2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】15 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第15回	岐路に立つヨーロッパについて輪読：その1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】16 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第16回	岐路に立つヨーロッパについて輪読：その2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】17 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第17回	金融は何の役に立つのかについて輪読：その1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】18 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第18回	金融は何の役に立つのかについて輪読：その2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】19 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第19回	2008 年の金融危機について輪読：その1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】20 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第20回	2008 年の金融危機について輪読：その2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】21 時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 1 回	競争政策と産業政策について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】22 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 2 回	競争政策と産業政策について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】23 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 3 回	経済のデジタル化について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】24 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 4 回	経済のデジタル化について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】25 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 5 回	デジタル経済の社会的課題について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】26 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 6 回	デジタル経済の社会的課題について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】27 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 7 回	イノベーションと知的所有権について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】28 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 28 回	イノベーションと知的所有権について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】29 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 29 回	産業規制について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】30 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 30 回	産業規制について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】31 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは講義内に行う。 ・質問等は EcoLink からも受け付ける。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
ティロール『良き社会のための経済学』日本経済新聞出版社，2018 年，4,200 円（税抜）。
参考文献
授業時に指示する
オフィスアワー
月曜日 15:00～16:00 事前に授業後またはメールでアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
自分の発表箇所について十分に準備をして授業に臨むことはもちろん、他の人の発表についても積極的に討議に参加すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	常木 淳	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	7062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
政府は、経済資源の配分に対して、市場と同様、大きな影響を及ぼしています。本ゼミでは、法制度の設計と執行、公共サービスの供給、税制や社会保障による富の再分配など、政府が担当している経済的役割について、ゼミ参加者諸賢が、単なるジャーナリスティックな情報整理ではなく、経済学の原理原則にまでさかのぼった考察ができるようになること、また、より原理的な問題意識として、国家と個人との関係、特に国家による規範形成の意味と、個人の自由な選択領域との関係、という問題について、憲法学と経済学との関係性を意識して、現実の政策問題に応じた判断ができるような能力を養うことを目的としています。
対応 DP 及び CP : 5 , 6 , 7 , 8
授業概要（教育目的）
厚生経済学、公共経済学の基礎的な方法論を徹底的に学び、これが現実の経済政策に関する決定場面において、どのような意味を持っているのかを理解することを最初の課題とします。次に、憲法学について、経済政策的決定に関連する部分を学習し、経済政策判断における憲法上の制約について、厳密な理解を獲得することを目指します。以上の準備を経て、現実の公共サービスを素材としながら、その政府による提供の範囲、なぜ政府による提供が正当化できるのか、政府が提供する場合にどのような制度上の枠組みと手法を利用すべきか、という問題について、個々のサービスごとに適切な判断ができるようになることを目指します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	教員によるゼミ全体のガイダンス	本年学習するゼミの内容を教員が概説し、内容、及びゼミの進行方法などに関して、参加者からの質問を受ける。 【事前学習】2 時間 公共経済学とは何か、事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、この一年間ゼミにおいて学ぶ内容、自分の努力目標に関する自分なりのイメージを確立する。
第 2 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	社会に提供されるサービスのうちで、市場が供給するサービスと政府が供給するサービスとの例を挙げつつ、それらがどのように異なっているかを学ぶ。また、多様な公共サービスについて、サービスの性質や提供手法などを通じた分類を試みる。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 3 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	公的サービスの多様性に着目しながら、それらを共有する場合に共通する経済的な原則について理解をする。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 4 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	厚生経済学の基本的な価値規範である社会的厚生関数について学び、それが現実の経済政策判断においてどのような意味を持っているかを学ぶ。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 5 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	社会的厚生関数の個人主義、パレート包摂性などの性質について正しく理解し、現実の経済政策がこれらの価値規範とどのように結びついているのかを様々な具体例を挙げながら理解してゆく。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受

		けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 6 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	憲法における「公共の福祉」の理念と基本的人権の理念とがどのような関係を持っているのか、それが現実の経済政策判断の場面で、どのようにクリティカルな役割を果たすのかを学ぶ。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 7 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	個人の権利と社会全体の福利との関係について、様々な具体例を挙げながら、両者の対立をどのように調整していったらよいのかを、考えてゆく。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 8 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	憲法論における公共の福祉に関する「二重の基準」論について詳しく学び、それが経済政策にどのような意味を持っているのかを正しく理解する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 9 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	「二重基準」論が具体的に問題となる多様な場面をできるだけ多様に提出し、この基準が適切であるか、それとも基準の修正、あるいは基準の適用領域の限定を求められるのかを議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 10 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	経済政策決定に際して、法律家と経済学者との適切な役割分担をどのように行うかを検討する。

		【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 1 1 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	法律家による政策論に関する文献を、発表するグループに事前に読んでもらい、経済学者による政策論を共通点や相違点を論じてもらう。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 1 2 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共経済学に基づく政策判断の基準と方法について正確に学び、法律家による政策論と比較する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 1 3 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	公共経済学的な政策介入の基準である公平性と効率性について正確な理解を進めるとともに、特に効率性基準としてのカルドア・ヒックス基準の意義についての厳密な理解を確立する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 1 4 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共経済学的政策介入にあたって留意すべき憲法上の制約について、厳密な理解を確立する。憲法 29 条 3 項における「正当補償」の原則について学ぶ。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを

		確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第15回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	政府による公共経済学的手法に基づく介入が行われた場合、政府による「補償」が必要となる事例を取り上げて、具体的にどのような政策対応が可能かを学ぶ。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。
第16回	教員による後期ゼミ全体のガイダンス	後期に学習するゼミの内容を教員が概説し、内容、及びゼミの進行方法などに関して、参加者からの質問を受ける。 【事前学習】2 時間 公共サービスとは何か、事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、後期半年間ゼミにおいて学ぶ内容、自分の努力目標に関する自分なりのイメージを確立する。
第17回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共サービスの厳密な定義、それが公共的に提供される理由について、公共経済学的観点から理解する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第18回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	公共サービスについて、その最も本質的な領域と周辺領域とを区別することによって、さらに理解を促進する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第19回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共財の最適供給に関する公共経済学の理論を復習し、これを法学者による公共財供給に関する議論を比較検討する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを

		確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 2 0 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	公共サービスの具体事例を取り上げて、前回説明した公共財の政敵供給基準に基づく供給の在り方と現実の供給体制との差異について議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 2 1 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共サービスのうちで、無償供給される理由を公共経済学の観点から説明する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 2 2 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	無償供給される公共サービスの例を挙げて、現実は無償で供給されているサービスが公共経済学の観点から見て妥当と言えるかどうか議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 2 3 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	道路サービスを具体例に挙げて、一般道、及び高速道路に関して、どのような条件の下で無償供給が正当化でき、どのようなケースでは料金を徴収するべきか、その額はどのように決められるべきか、などを説明する。道路サービスを具体例に挙げて、一般道、及び高速道路に関して、どのような条件の下で無償供給が正当化でき、どのようなケースでは料金を徴収するべきか、その額はどのように決められるべきか、などを説明する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。

第 2 4 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	現実の道路供給の在り方について調べて、それがどのように供給されているのか、現実の供給状況は公共経済学に基づく指針と合致しているか、両者の乖離がどのような理由から生ずるか議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 2 5 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共サービスの提供にあたって、政府が直接にサービスを提供する場合と、提供を民間に委託する場合がある。いろいろな公共サービスについて直接供給と民間委託のどちらが望ましいかを議論する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 2 6 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	具体的な公共サービスの例を挙げて、民間委託するか政府が直接供給するかのどちらが望ましいか、現実の供給体制が前回論じた民間供給の指針と合致するのかを議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 2 7 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	料金の徴収が可能な図書館、病院、学校などのサービスにおいて公的なサービス供給が行われている理由を説明し、その妥当性について議論する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 2 8 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	日本における公教育の現状について調査し、公立学校と私立学校との関係をはじめ、教育サービスが適正に供給されているかを調べる。もしも、適性を欠く部分があるとすればその理由についても議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受

		けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備しておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 29 回	前々回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	教育の現状について、海外の事例を調査し、前回調べた日本の状況と比較し、どちらがより望ましい供給をしているかを議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備しておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 30 回	全体総括	今年度の研究全体を振り返って、各人のその成果や感想を求め、その成果を今後に生かしてゆく方向性を全員で考えてゆく。 【事前学習】2 時間 本年度の講義全体を振り返り、自分が学んだことを確認しておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、ゼミにおいて学んだ内容を確認するとともに、自分の今後のライフプランの中にどう位置付けてゆくか、自分なりのイメージを確立する。

授業形式
授業は、毎回、考察する主題を資料の形で与えたうえで、教員による解説、演習参加者との質疑応答、発表者のチームによる調査とレポートを有機的に組み合わせて進められる。参加者は、予め経済学の知識を特別に要求するものではないが、授業にあたっては意欲を持って積極的に参加すること。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	30 %	0 %	70 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
発表や討議において観察される学力は、当然最優先の事項であるが、同時に誠実に努力する姿勢をいつも見ていることを忘れないように。					

テキスト
研究と発表の素材となる論文や資料は、授業の時に配布する。
参考文献
常木淳（2002）「公共経済学」第2版 新世社。
オフィスアワー
メールでの事前予約による。いつでも応じるので、積極的に連絡するように。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
とにかく、やる気を持って、課題と積極的に向き合う姿勢が求められる。理由のない欠席に対しては、単位不認定はもちろん、退ゼミを含めた厳しい措置をとる。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	坪内 浩	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	水 2	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
このゼミでは、ゼミ生が経済学的なものの考え方を身に付け、経済・社会の問題を考えるとともに、考えた結果をプレゼンテーションして意見交換し、その人なりの結論を導き出せるようになることを目標とします。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
経済・社会に関する文献を読んでそれに関するプレゼンテーションを行ってもらいます。特に、このゼミでは、グローバル化、AI やロボットの導入とその影響について検討します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概略。授業の方針。授業計画。評価の方法。注意事項。 【事前学習】2 時間 シラバスを読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、提示された課題に取り組むこと。
第 2 回	プレゼンテーションについて	プレゼンテーション・ツールが使えるようになる。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーション・ツールについて調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、提示された課題に取り組むこと。
第 3 回	ディベートについて	ディベートができるようになる。 【事前学習】2 時間 ディベートについて調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、提示された課題に取り組むこと。
第 4 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ

		ート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	調査・研究のテーマ報告と議論	問題意識、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、大まかなデータ、論理展開の骨子など 【事前学習】2 時間 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	調査・研究のテーマ報告と議論	問題意識、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、大まかなデータ、論理展開の骨子など

		【事前学習】2 時間 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 5 回	調査・研究のテーマ報告と議論	問題意識、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、大まかなデータ、論理展開の骨子など 【事前学習】2 時間 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 6 回	調査・分析の進捗状況の報告と議論（中間報告）	言いたいこと、知りたいことは何か？を明確化する 過去、海外から分析に使える具体的な事例とデータを探す 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 7 回	調査・分析の進捗状況の報告と議論（中間報告）	言いたいこと、知りたいことは何か？を明確化する 過去、海外から分析に使える具体的な事例とデータを探す 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 8 回	調査・分析の進捗状況の報告と議論（中間報告）	言いたいこと、知りたいことは何か？を明確化する 過去、海外から分析に使える具体的な事例とデータを探す 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 9 回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 0 回	グローバル化とその影響につ	指定した文献の内容を順番に報告する。

	いて輪読	【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 1回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 2回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 3回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 4回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 5回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 6回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ

		ート作成時に注意すべきことをまとめる。
第27回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第28回	調査・分析の報告（最終報告）	問題意識（主張しようとする仮説）、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、データの収集と分析、論理展開など 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第29回	調査・分析の報告（最終報告）	問題意識（主張しようとする仮説）、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、データの収集と分析、論理展開など 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第30回	調査・分析の報告（最終報告）	問題意識（主張しようとする仮説）、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、データの収集と分析、論理展開など 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式
・質問等のフィードバックは講義内に行う。 ・質問等は EcoLink からも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
授業内で指示した課題はすべて提出すること。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ワード、エクセル、パワーポイントが使えるパソコン、タブレットを各自準備してください。また、指定されたテキストや文献を購入してください。 積極的に発言しゼミに取り組む学生を希望します。欠席が授業回数の 6 分の 1 以上の学生には単位を与えることはできません。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	08
担当教員	松本 純	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 学術的文献を講読することで、豊かな教養・知識を習得する。 2. 複数の学術的文献を読みこなすことで、分析力・批判的思考力を習得する。 3. とりわけ歴史的文献を講読することで、経済・経営の歴史的文脈を解き明かし、現在の諸問題の解決策等を見出す。 対応 DP および CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義は、経営史を対象とします。諸外国そして日本の経営を歴史的に理解して自身の知恵とするには、インターネットの情報に頼るより、経営史に関する専門書を深く読むことが必要となります。普段触れることのない経営史関連の学術的文献を読み込むことによって、経営史の専門知識を身につけ、歴史的価値観を育んでもらいます。 具体的には、複数（講義前半：1 冊，講義後半：1～2 冊）の文献を講読して、その内容を個人で報告してもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 シラバスを熟読し，講義の概要について把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を十分理解し，授業中に紹介したテキスト（文献）を手に入れておくこと。
第 2 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。

		【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	前半の総括	指定した文献全体の内容を把握し、そこからどのような歴史的文脈を習得したか、まとめる。 【事前学習】2 時間 前半に自分が報告した全ての内容について、復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間

		教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	後半の総括	指定した文献全体の内容を把握し、そこからどのような歴史的文脈を習得したか、まとめる。 【事前学習】2 時間 後半に自分が報告した全ての内容について、復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式
授業形態は、「②オンデマンド型」とする。 質問等のフィードバックは、オンライン（EcoLink もしくは Gmail 経由）もしくは講義内（Zoom ミーティング経由）で随時行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
授業内で提示した課題は、すべて提出すること。提出物の完成度・授業への参画度などにより、総合評価する。					

テキスト
橘川武郎『ゼロからわかる日本経営史』日経文庫，2018 年，950 円（税抜）。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
受講生との相談により、日時を決める。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受講生にテキスト（文献）の購入を義務づける。しかるべき理由もなく課題の提出などを怠る受講生については、単位を与えないこととする。歴史的文献の講読を続ける授業であるため、なるべく普段から歴史に関心を持つようにすること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	横井 のり枝	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	7061	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
消費者をとりまく環境が急速に変化しています。オンライン通販やスマホ決済という言葉が珍しい時代ではなくなってきました。無人レジや無人配達が当たり前になる時代も、近いかもしれません。この変わりゆく環境において、企業が対応すべきマーケティングのあり方も変化してきています。どのような商品であれば、そして販売方法であれば、消費者に関心を持ってもらえ、手にとってもらえるのかななどを、身近にある商品やサービスを題材にして考え、実践できるようになることを目標にします。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
最初にマーケティングの基礎を確認し、次にマーケティングをテーマにプレゼンテーションなどを行います。これらにより、マーケティングの基礎を身につけてもらいます。将来の就職活動はもとより、社会に出てからも求められる基礎的なスキルですので、早くから身につけていけるように指導します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 指定テキストの目次とイントロダクションを読んでくこと 【事後学習】2 時間 授業内容，および今後自らが発表するパートを確認して，事前準備をしておくこと。
第 2 回	マーケティングとは	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの序章，第 1 章を担当学生が発表し，それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくこと。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 3 回	マーケティング・マネジメント	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの第 2 章を担当学生が発表し，それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくこと。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 4 回	消費者行動	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの第 4 章を担当学生が発表し，それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくこと。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 5 回	マーケティングリサーチ	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの第 5 章を担当学生が発表し，それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくこと。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 6 回	製品戦略	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの第 6 章を担当学生が発表し，それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくこと。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 7 回	価格戦略	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの第 7 章を担当学生が発表し，それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくこと。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 8 回	プロモーション戦略	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの第 8 章を担当学生が発表し，それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくこと。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 9 回	チャネル戦略	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの第 9 章を担当学生が発表し，それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくこと。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 10 回	リサーチワーク（その 1）	前回までに学んだマーケティングリサーチおよび 4 P の理解を，実践で活かす

		ためのリサーチワークを行う。指定された課題のテーマについてディスカッションし、理解を深めた上で、各学生がリサーチワークを行う 【事前学習】2 時間 事前に提示された課題の意味を調べてくること。【事後学習】2 時間 自らのテーマに基づき、ワークを行い、次回の発表に備えること。
第 1 1 回	ダイレクトマーケティング	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの第 10 章を担当学生が発表し、それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくること。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 1 2 回	デジタルマーケティング	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの第 11 章を担当学生が発表し、それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくること。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 1 3 回	サービスマーケティング	マーケティング論の基礎を確認していく。指定テキストの第 13 章を担当学生が発表し、それについて全員がディスカッションしていく。 【事前学習】2 時間 指定テキストの該当パートを読んでくること。【事後学習】2 時間 授業内容を復習すること。
第 1 4 回	リサーチワーク（その 2）	第 10 回授業で与えられたリサーチワーク課題の発表を各学生が行う。教員からのコメントをもとに、次回までに修正することで、さらに理解を深める。また、与えられた時間内にいかに伝えられるのかといったプレゼンテーションスキルも併せて学習する 【事前学習】2 時間 発表資料を作成してくること。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、次回までに推敲してくること。
第 1 5 回	リサーチワーク（その 3）	第 14 回授業での発表を受けて、学生各自が修正してきた内容を再び発表する。前期にマーケティング論の基礎を確認し、基本的なリサーチワークを学ぶことで、後期に行うグループワークに備える。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成してくること。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、後期に備えて復習すること。
第 1 6 回	グループワークとは	後期からはじめるグループワークについて、学習します。後期 15 回を通して、1 つの実践的なマーケティング課題について、グループで取り組むことにより、その解決方法を見出していきます。初回は、グループごとに課されたテーマについて確認し、最初に何をすべきかをディスカッションします。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成してくること。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、後期に備えて復習すること。
第 1 7 回	グループワークの実践（1）	課されたテーマから、各自が調べた資料等を持ち寄り、グループでディスカッションしていきます。 【事前学習】2 時間 ディスカッションに必要となる情報を調べてくること。【事後学習】2 時間 ディスカッション内容を見直し、さらに必要な情報やデータを収集してくること。
第 1 8 回	グループワークの実践	前回のディスカッションおよび各自が持ち寄ったさらなる資料をもとに、グループ

	(2)	でディスカッションしていきます。 【事前学習】2 時間 ディスカッションに必要となる情報を調べてくること。【事後学習】2 時間 ディスカッション内容からグループの方向性を次週に発表するための資料を作成してくること。
第 19 回	グループワークの実践 (3)	課されたテーマから、各グループが導き出した方向性について発表します。それについて教員から受けたコメント等をもとに、問題点をグループで整理していきます。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成してくること。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、修正してくること。
第 20 回	グループワークの実践 (4)	前回の発表および事後学習をもとに、各自が見直してきた内容をもとに、グループでディスカッションします。そして、課題になる点をグループで整理していきます。 【事前学習】2 時間 前回発表内容と課題をもとに、修正点を整理してくる。【事後学習】2 時間 ディスカッションで得た内容等を見直し、修正してくること。
第 21 回	グループワークの実践 (5)	前回までの内容をもとに、リサーチ手法を設定します。課題についてどのような手法をとれば課題解決になるかをグループでディスカッションします。 【事前学習】2 時間 リサーチ手法について調査、考察してくること。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、修正してくること。
第 22 回	グループワークの実践 (6)	リサーチ手法について、文献等を見直し、もう一度グループでディスカッションします。 【事前学習】2 時間 リサーチ手法の文献を予習し、具体的にリサーチ設計に適切な手法を予習してくること。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、修正してくること。
第 23 回	グループワークの実践 (7)	リサーチ手法について確定し、具体的なリサーチ設計に入っていきます。何をいつどの程度行うのか等を決め、グループ内での役割分担も行います。 【事前学習】2 時間 課題設定からリサーチ手法までを見直し、具体的にリサーチ設計を行ってくる。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、修正してくること。
第 24 回	グループワークの実践 (8)	グループワークの中間報告会を行います。テーマに基づき、各グループが設定した課題とその解決方法、および解決のための具体的なリサーチ内容を発表します。それについて教員から受けたコメント等をもとに、さらに課題になる点をグループで整理していきます。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成してくること。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、修正してくること。
第 25 回	グループワークの実践 (9)	具体的なリサーチを行います。各チームが設計したリサーチを実施するための準備を行います。 【事前学習】2 時間 中間報告会で得たコメント等をもとに、リサーチの修正を行ってくる。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、修正してくること。

第26回	グループワークの実践（10）	引き続き、リサーチを行います。リサーチ上、課題が出てきた場合には見直して、やり直しを行います。 【事前学習】2 時間 グループ内でリサーチ実行の運営等を見直してくること。 【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、修正してくること。
第27回	グループワークの実践（11）	引き続き、リサーチを行います。なかでもアンケート調査については、調査票の回収を行いナンバリングしていきます。 【事前学習】2 時間 リサーチの進捗状況をグループ内でシェアし、足りない部分は協力して実施しておくこと。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、修正してくること。
第28回	グループワークの実践（12）	アンケート調査票をもとに、データ化して分析を行います。 【事前学習】2 時間 グループで調査票を分担してデータ化してくること。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、修正してくること。
第29回	グループワークの実践（13）	すべてのリサーチおよび分析から得られた結果をもとに、結論を導き出します。最終報告するための発表資料を作成します。 【事前学習】2 時間 分析から得られた結果をまとめてくること。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直し、発表資料に反映してくること。
第30回	グループワークの実践（14）	グループワークの最終報告会を行います。 【事前学習】2 時間 グループで発表資料を作成してくること。【事後学習】2 時間 授業で得たコメント等を見直すこと。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行う。 ・質問等は Google クラスルームで受けつける。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
授業内での積極的な言動，グループ活動での積極的な言動およびアウトプットを評価します。					

テキスト
現代マーケティング研究会編『マーケティング論の基礎』，同文館出版，2019 年，2,500 円（税抜）．
参考文献
初回授業時に指示します。
オフィスパワー
水曜日 12:30～13:30。事前にメールにてアポをとること。 メールアドレスはゼミ初回開始前に提示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミへの積極的な参画を期待しています。 事後の復習だけではなく，事前の準備が大事になってきますので，事前・事後どちらも時間をかけて取り組んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2